

京都教区時報

小教区の頁—青谷教会
特集—コミュニケーション年にあたって

第86号

発行所

京都市左京区仁王門通新高倉東入
京都カトリック教理センター
広報室 (Tel761-9095)
編集責任者 村上透磨
編集部 教理センター
田中司教認可

ヒトと頃、ビジ

コミュニケーション



ひと頃、ビジ
ョンアレルギー
という新語を教
区時報などでよ
く見かけたもの
ですが、最近は
どうでしょう。

6月に開催した京都府南部カトリック信徒協
議会(略称・南信協)第一回のビジョン推進
委員会での発言を聞いていますと、アレルギ
ーはまだまだ根強いのではないかと言う気が
します。

アレルギーといえば、体の外から来る刺激
に対する体の反応が敏感すぎて異常が起るこ
とですが、教区ビジョンに対するアレルギ
ーとは、信徒がビジョンに対して示す無関心や
抵抗という拒否反応ということになりまし
うか。

拒否反応と言っても、一つには、ビジョン
という訳のわからない外来語に親しみが持た
にくいという点があると思います。ビジョン
という言葉で表わされる内容がよく理解され
れば、「何だ、そういう事か」というように、拒
否反応が柔らぐのではないのでしょうか。

どんな立派な信徒でも、どれほどすぐれた
教会組織でも、神様の目から見れば不完全な
ところがいっぱいあるに違いありません。洗
礼によってキリストの共同体の一員として頂

いた私たちに神様がお望みになるのは、キリ
ストに倣い、少しでもキリストに近づくこ
とでしょう。ビジョンとは「見る」と言う言
葉から出ているそうです。とすれば、キリス
トの目で「見た」時、私たちはどうあるべき
かを不完全ではあるが、見つめようとしまし
た。これが実はビジョン(みる事)だったの
です。

この点から考えて、今現在の私たち信徒自
身、属する小教区、教区の状態が、キリス
トの目で眺めた時、どこかに、何か欠けてい
るところ、十分でない所があるとしたら、それ
を反省し、聖霊のおん導きを祈り求めながら
一歩一歩キリストのものに近づける努力をす
るのは、信徒として当然だといえましょう。

教区ビジョンという、とっつきにくい教会の
新語も、つまりは右の営みを具体化すること
に他ならないと思います。

とは言え、キリストの目で物を見、キリス
トのように考え、行動するとは、口でいうほ
どかんたんな事ではないでしょう。でも信徒
の一人一人がこの事を自覚し、たとえわずか
でもその方向に向けて動き出せば、やがては
キリストの共同体として大きな力になって行
くに違いありません。私たちは、たとえ時間
がかかっても、この方向を見失うことのない
よう、一人一人が努めようではありませんか。

(南部信徒協議会会長 奥本裕昭)

教区短信



8月5〜7日 教会学校リーダー養成

研修会(於京都カトリッ

ク会館6F)

8月5〜8日 CBS野営大会(於滋

賀県マキノ)

8月6〜15日 第二回全国平和旬間

8月14日(日) 教区平和の日

8月15日(月) 聖母被昇天祭 衣笠教会

献堂25周年・堅信

8月21日(日) カト学生全国セミナー

正平協全国集会

8月23〜26日 教区内司祭修道士夏期

研修会(於岡山県)

9月5日(日) 司祭評定例会

9月5〜7日 教区神学生合宿(尾鷲)

9月18日(日) CBSサンデー(NDD小)

9月19日(月) 教区付司祭月例会

教皇大使

ガスパリ大司教急死

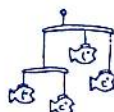


駐日教皇庁大使マリオ・ピオ・ガスパリ大司教は、6月23日午後10時30分、大使公邸で急性心不全のため、急死された。御冥福をお祈りしたい。

大使は昭和52年以来駐日大使をつとめられ、その間各地の教会、修道院、学校、施設等をよくまわられ、歴代の教皇大使の中でも特に司牧的な方と見受けられる。在任中、最も大きな出来事は教皇の訪日であり、そのための配慮はなみなみならぬものがあつた。大使は京都にもしばしばお出になり、昨年は京都北部を中心にその司牧的訪問をとげられた事は記憶に新しい。日本の土になる事を望まれたが御家族の願いもあり、遺体は本国イタリアに島本浦和司教が随伴し7月1日無言の帰国をされた。尚京都教区では、追悼ミサが、7月3日、午後2時30分、河原町教会において、田中司教主式、多数の信徒の参加のもと行われ、大司教様への感謝の祈りを捧げた。

司教の足どり

5月～7月



5月	
16日	邦人司祭月例拡大大会(於奈良) MM総長と面談 MM総会に挨拶(関西セミナーハウス)
17日	WCRP日米宗教者協議会 同。聖公会・カトリック両司教団合同礼拝「平和と一致」於聖イグナチオ教会
18日	田中英吉司教(高松前教区長)死去 同臨終、納棺に立合う(聖マルチン病院) 通夜・高松故田中英吉司教葬儀ミサ・告別式に参列(高松司教座聖堂)
20日	22日(日)聖霊降臨祭 河原町教会坚信藤堂師一周忌墓参(九条教会信徒と共に)
21日	母見舞(聖マルチン病院)田中英吉司教の事後処理(高松司教館)同司教のための夕べの祈禱会ミサ
22日	同事後処理継続
23日	M師病氣につきMDと相談
24日	マリスタ会管区長と面談
25日	司祭評常任委
26日	教理センター倉庫祝別 MM新田両管区長と面談 平和旬間準備実行委
27日	
28日	
6月	
1日	宣教司牧司教委
2日	東京神学院養成担当者(各教区からの)合同会議 同神学院司教常任委
3日	同継続
4日	同継続
5日	桃山教会坚信
6日	教区内司祭修道士夏期研修準備会
7日	学ND理事会 古屋司教見舞
8日	故浅田善之助・部落解放同盟葬に参列 NCC研究所理事評議員合同会 ビジョン事務局会
9日	SSND代表と面談
10日	河原町マリア会員と懇談会
11日	学MM女子理事會(四日市) MM女子地区長と懇談
12日	(日)西院教会坚信 同教会役員団と懇談
13日	関部洛間題と取り組むキリスト教連絡会の結果会(於聖公会)
14日	崔師見舞(バプテスト) 丸山師見舞(富田) 教理センター訪問
15日	津教会代表と面談 MD診察
16日	聖母訪問会総長たちと面談
17日	衣笠墓参 聖嬰会訪問 SSND創立50年・ネパール派遣・銀祝ミサ(ND大) 平和旬間準備実行委
18日	
19日	
7月	
1日	京都国際宗教同志会世話人会
2日	(日)河原町ミサ 故G大使追悼ミサ
3日	4・9日司教協定例総会
4日	諸宗教委 東京神学院司教常任委
5日	同継続 帰洛
6日	
7日	
8日	
9日	
10日	
11日	
12日	
13日	
14日	
15日	
16日	
17日	
18日	
19日	
20日	教区付司祭月例会
21日	MM新田両管区長と面談
22日	古屋司教見舞
23日	O氏 O氏 I師来訪
24日	駐日教皇庁大使ガスパリ大司教急逝の報を受く 教区内に連絡「祈りを請う」
25日	
26日	舞鶴地区坚信 西舞鶴壮年部と懇談
27日	原水禁'83世界大会平和行進参加
28日	(日)京都カリタス会理事會
29日	駐日教皇庁大使故G大司教の通夜に参列(東京カテドラル)
30日	諸宗教委デスク訪問 G大使の葬儀ミサ・告別式に参列

フライピンで作られた 可愛いハンカチタオル

マニラで働くシスター小野島から、スラムで沢山の人が仕事もなく餓えています。生計を立てるために手芸をしたタオルを買って下さい」とのこと。

美しい模様入り、釘にかける様になっていきます。一枚 三〇〇円

御入用の方は教理センター(075-761-9095)まで、お申出下さい。



ビジョン

実現化への動き

①「教会は障害者に開かれているか」

「訴え」と「指針」を発表

前回ビジョン推進連絡協議会(2月26日)での第一グループ(教会は障害者に開かれているか)の話し合いを土台にして、まとめた「訴え」と「指針」が事務局より発行され、小教区、関係諸団体に配布された。

教会と障害者の関わりは本来どうあるべきなのか。「のために」なのか「と共に」なのか。障害者は教会のお客様、慈善の対象なのだろうか、それとも、福音の担い手であり、教会の中心的な役割を演ずる権利と義務を持っている人なのか。

福音それ自体(つまりキリストのまなざし、心向き)と云ったものはこのいわば弱い立場に置かれている人々に対してどうなのか。障害者と健常者がそれぞれの立場からはりめぐらしている壁があるのではないか等の反省を促している。

そして指針では最後に、障害者に対する具体的な接し方について、いくつかの指針を与えている。まだまだ不十分なところはあるにしても、この訴えと指針を足がかりに、障害を持つ人々が、本来の位置と働きを見出される様願っている。

②平和旬間に向けて

「生活の見直しを」

平和旬間実行委員会では、表記の様なテーマのアンケートを各方面に出し、7月10日迄に回収し、それをまとめて、平和の日(8月14日)に分かち合う事を計画している。それらの生活の見直しは、信仰とは何か、真の平和とは何か、人権とは何か、といったキリスト者としての根本的な問題を見直していくたすけになると期待されている。

③正規授業で福祉教育

暁星(宮津) 日星(舞鶴)で。

各学校において、福祉問題の取り組みが真剣になされつつある事は喜ばしい事である。しかし、大体において、福祉活動は課外活動として、各自の自発性にまかせているのが現状のようである。



実感した役立

正規授業で福祉教育

暁星女子(宮) 日星(舞)の2高校

1983. 6. 19 朝日新聞より



福祉教育の重要性が認識され、正規授業として実施されるようになり、各校で実践されている。この取り組みは、生徒の社会意識を高め、福祉に対する理解を深めることに貢献している。

ところで自由である事は、してもしなくてもよいと云う無関心無責任の原因ともなりうるし、関心のある人はますます関心を持つだろうが、関心のない者はますます無関心になりかねない。

そこで暁星、日星両校では、福祉教育を正規のカリキュラムに組み込み、成果をあげている。奉仕の意義、施設訪問、礼儀作法を必須課題として週一時間。点字、手話等を選択課題として毎週二時間の授業がある。尚同校の教育方針は「誰かと共に誰かのために、より豊かに」である。各学校にもこの様なカリキュラムを組み入れる事は出来ないものだろうか。

ここでもう一つ各ミッション系の学校にまずお願いしたい事は、障害を持った子を各クラスに受け入れる事を真剣に考えてほしいと言う事である。特に義務教育課程において受け入れる体勢が取れないものか。受け入れるについて大きな勇氣と決断も必要であろうが、どの学校も「小さい人々を大切に」という目的からはじめられた精神からすれば、それは是非実現すべき事ではないか。種々の問題があるうが、それについては、後に論じ合う場を持てれば幸いである。

「ビジョン」のスライドとテープが出来ています。

問合せ 京都カトリック教区事務所

☎075-211-3025

製菓材料・舶来食品
和洋酒・修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒

タキノ

〒604 京都市中京区錦小路通鳥丸東入
電話 (221) 0976-7

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀・貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下 安雄

(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町 2 3
電話 (075) 312-7829
(075) 771-7577



「祈りの友」の可愛い
「ポケット判」が出来ました

カトリック 祈禱書
田中 建一 司教認可
発売元 宇治カルメル会修道院
取扱い 三条 Y B U 書店

(尚部数により割引があります)

よろこびと悲しみ

田中英吉司教
(前高松司教)死去



田中健一京都司教の叔父にあ
たられる、高松前教区長、田中
英吉司教は、5月20日、老衰に伴う心不
全のため、入院先の聖マルチン病院で死
去された。八十才。

葬儀ミサには、田中司教をはじめ、先
日なくなられたガスバリ大司教も参列。
教区の「お父さん」を失った高松教区
民に対しては勿論、甥にあられる田中
司教に対しても心からおくやみを申し上
げたい。(尚詳しい事はカトリック新聞
6月5日号を御覧下さい)

おめでとうございます

銀 祝

次の神父様方が六月銀祝を迎えられた
J・ジャクソン師(津)メリノール会
G・マクドナルド師(YBU)
M・カリエ師(峰山、丹後)
レテンブートル会

お知らせ

メリノール会新管区長に

E・デュマス師(衣笠)

去る5月、メリノール総会において、
ラッキー師任期満了に伴い、管区長改選
が行われた結果、E・デュマス師を新管
区長に選任した。就任は9月の予定。

京都南部各ブロックに

南信協担当司祭

京都南部信徒協議会と京都南部地区司
祭との連がりを深めるため、窓口役とし
ての司祭の選出を要請したところ、左記
の各師が決まった。任期は2年。

北ブロック 花井師(衣笠、小山、亀岡)

南ブロック 村上(ト)師(八幡、桃山、

伏見、宇治、青谷、田辺、

精華)

東ブロック ナドウ師(北白川、河原町

山科、高野)

西ブロック 浅田師(西陣、西院、九条

桂、長岡)

傍線の教会に南信協の監事があります。

御協力ありがとうございます

四旬節愛の献金 四、六七二、九三五円

広報献金 九六一、三二九円

聖ペトロ献金 九一一、八五二円

58年7月25日現在

夏期合宿・研修会・会議

8月2日～5日 三重高校生会

8月12日～14日 於唐崎メリノールH

8月16日～19日 滋賀青少年練成会

8月23日～26日 於唐崎メリノールH

8月30日～9月1日 京都南部高校生会

8月5日～7日 於長島愛生園

8月14日～16日 司祭修道士研修会

8月23日～26日 於岡山県 総社

8月30日～9月1日 青年宗教者会議

9月5日～7日 於東京高尾山薬王院

9月14日～16日 神学生合宿

9月23日～26日 於尾鷲

第8回 教会学校リーダー

養成研修会

テーマ 「教会学校と聖書」

期日 8月5日(金)～7日(日)

場所 京都カトリック会館6階

会費 一日二、二〇〇円(昼食付)

対象 教会学校リーダー及希望者含む

定員 50名

中入先 西院教会内 教師会世話係

☎075-841-1023

「社会とともにあゆむ教会」勉強会

9月11日 「労働運動の意義」

10月9日 「日本社会の分析と福音」

R・アビト師

場所 京都カトリック会館 6F

時間 PM1時～4時

第20回 カトリック社研セミナー

主題 「いま子どもたちの明日を考える」

時 昭和58年8月19日(AM9時半)～21日

所 横浜雙葉学園 視聴覚教室

参加費 四千元

申込先 東京都新宿区北新宿1-33-20

〒160 (Tel.03-362-4659)

カトリック社会問題研究所

セミナー準備委員会

マリツジエンカウンター

一部日時・場所が変更になりました

8月14日(日)～16日(火)S・C・C(青年)奈良

9月9日(金)～11日(日)レトルノ(MEに参加

した夫婦のみの黙想会)奈良

10月8日(土)～10日(月)(夫婦)宮津

参加費 約一万円

参加希望者は奈良教会(〇七四二一二六

一〇九四)へお問い合わせ下さい。

結婚講座

日時 昭和58年9月23日(金)(秋分の日)

午前10時～午後3時

場所 奈良市登大路町三六

奈良カトリック教会

講師 カリエ師

演題 「聖書が教える愛と結婚の尊さ」

申込期限 昭和58年9月22日

会費 一名 一五〇〇円(昼食代含む)

住所変更

亀岡教会の住所番地変更

亀岡市安町小屋場五三番地

第4回平和学習会

日時 9月24日(土)PM6時～8時

場所 京都カトリック会館5F会議室

平和ってなんだろう。戦争のない世界の実現は夢にすぎないのか。日々確実に私たちは無知にすぎないのではないのか。

平和について、いっしょに学びたい方はふるってご参加下さい。

主催 ビジョン連絡協議会平和学習グループ

ーブ

京都カトリック・スカウト

夏期合同キャンプ

カトリック・スカウト(CBS)教区支部では8月5日～8日まで「第一回支部合同キャンプ」を滋賀県マキノ栗園に於て、「信仰と友情」のテーマで開催する。これには教区内のBS4ヶ団、GS12ヶ団、約750名のスカウトが参加し、6日PM6時30分より田中司教、各団指導司祭の共同式にてミサがおこなわれ心的一致と平和に祈りを捧げる。

第4回カトリック・

スカウトサンデー

9月18日(日) ノートルダム小学校に於て支部第四回スカウトサンデーミサをPM2時から計画している。

これはCBS全国統一行事の一環として教区支部においても開催されるもので、技術偏重のスカウト活動に信仰心をおもいおこす事を目的とし、岡指導司祭の指導のもとに祈りの一日として計画してい

る。この日は教区BS・GS全国の参加を予定している。

第4回女子パウロ会ブック&AVフェア

北浜カトリックセンター AM12時～PM5時
9月30日(金) 6階 PM1時30分

「あけぼの愛読者の日」

特別講演「生きていく上に一番大切なこと——新約聖書のこころ」

講師 井上洋治師(東京教区司祭)

10月1日(土) 7階 PM1時20分と3時

講演「現代の子とコミュニケーション」

映像言語のよみ方 PM1時30分

講師 Sr白井(女子パウロ会視聴覚部)

講演「現代の子とイエズス様」 PM3時

講師 岩崎淳一師(東京教区司祭)

開催中「あけぼの」表紙原画、新刊

クリスマス絵本の原画、新作スライ

ドの試写、子どもの信仰教育に関する

本の展示即売をいたしております。

主催 女子パウロ会

協力 カトリック大阪大司教区

申込み、お問い合わせは女子パウロ会

尼崎市東園田町9-15-2

☎06-441-1061

入場無料

訂正

6月発行No.85の9頁に掲載いたしました。奈良教会バザーとあるのは誤りで、教会は場所を提供。主催は奈良音楽研究会につき訂正してお詫び致します。

今年も歩こうウォーカソン

韓国ラザロ村のために

みなさんの関心と協力の深まりによって、年々充実しつつある京都ウォーカソンを今年も11月3日第五回目を実行しようと思っております。昨年は三七七名の参加、三五五万の募金をいただきました。

今年は、韓国ラザロ村(ハンセン氏病患者村)の運営資金援助にあげたいと思います。日本では医学の発達により、だんだんこの病が克服されつつあるものの外国では、この病に

苦しむ人々が数多く見られる様です。どうか出来るだけ多くの方々が、ウォーカー(歩く人)として、又はスポンサーとして御参加下さる様お願いします。



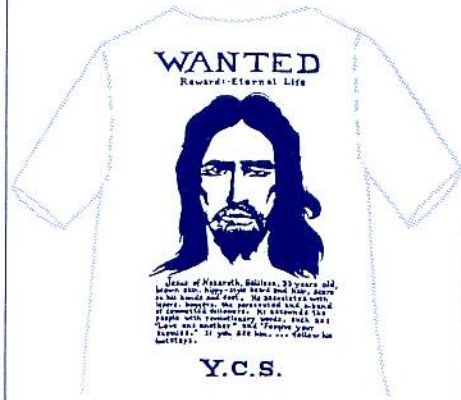
主催 京都教区時報編集部
共賛 京都南部信徒協議会
修道女連盟京都支部
子羊会

京都教区京都南部高校生会
コリアン・カトリックセンター

宣教Tシャツ

あなたがたは主キリストを着なさい。

(ローマ 13, 14)



着よう、着よう、主イエスを、キリストを、を伝えるために、

●白地に黒の印入り、 ●価格 1枚：1,200円 ●サイズ・フリー

お買い求めは
京都カトリック教理センター
☎(075)761-9095・752-0057

ネパールへ――

ノートルダム教育修道女会



ノートルダム教育修道女会では、同会創立一五〇周年を記念し、四修道女をネパールへ派遣する事に決定した。派遣されるシスター方は次の通りである。

シスターイヴアンジェラ今村
シスターアンブローズ河瀬
シスタージャンネット田中
シスターミリアム・テレーズ金谷

シスター達は6月29日、7月13日の二班に分かれ出発した。ネパールでは改宗は法律で禁じられており、直接の布教活動は出来ないが、教育活動を通じて、ネパール社会の意識変革の助けとなりながら自分達の使徒職を全うする事を目的としている。シスター方の健康と、みづみづやかな実を結ぶための恵みを祈りたい。

「地域に開かれた教会」

を目ざして

桂・亀岡教会

桂教会（花井師）では、西京区に福祉センターを作る会の主催で、去る3月21日、福祉バザーを開催、これに洛西ニュータウンのガールスカウトや、有栖川町の婦人会有志の協力があり、桂、亀岡教会も食品コーナーを中心にお手伝いし、大きな成功を治めた。基金集めと云う点からだけでなく、教会と地域社会との協力を行うところに大きな意義がある。

花井師曰く、「これこそ京都教区ビジョン実践そのものですよ」
尚この福祉施設は、障害をもつ子供達のグループ活動の場、高校卒業後の授産施設、障害者や親達の自由な会合の場と云った願いから計画されたものである。又桂おもちゃライブラリーを開設し、心身に障害のある子供達の心身のすこやかな成長を援助する事を目的に、母親ボランティアを中心に、地域ボランティアを育成する事を目ざしながら活動を行っている。

姉妹教会、亀岡教会では、難民家族を受け入れる計画を桂教会と協力して進めている。

難民定住に御協力を

ベトナム難民家族の定住をお世話下さる方々を探しています。小教区、修道会、家族等で御協力下さる事があれば、カーティ師（西大路カトリックセンター）か齊木師（教区事務所）まで連絡下さい。

北 京都府南部合同堅信式



6月26日(日)西舞鶴カトリック教会において京都府北部、東、中、西舞鶴、綾部、報恩寺、福知山、六つの教会の合同堅信式が田中司教様をお迎えして行われた。受堅者は百名、一般参列者も多く、聖堂内は超満員であった。

司教様は「信者一人一人が、神のみ声にどのように従うか。恐れずに心の扉を開くことが大切である。一人一人の信仰が、教会全体の共同体としての行為とな

って表れるのであるから、経済大国として、とかく批判を受ける日本人として、世界の人達と連帯性のある国際的なキリスト共同体を育てていくよう神からの使命を理解し、私達は一人一人を燃焼させていくことの大切さをお話しになりました。堅信式、ミサの後、ホールで行われた祝賀会は司教様を開んで子供達から大人まで一つのファミリーのような歓談がいつまでも続いていた。

災害による人々の

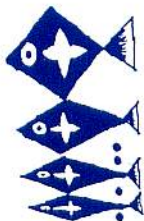
苦しみに

5月26日におこった、日本海中部地震では教会関係で甚大な被害は出ていない模様ではあるが、新潟の能代教会では約千二百万円の被害が出た模様である。

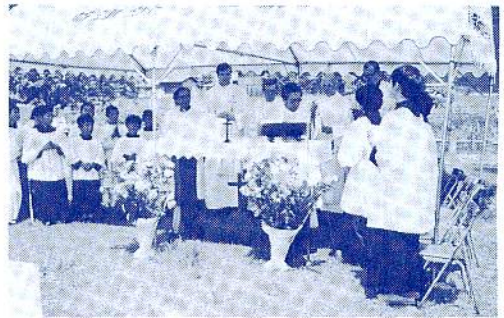
（カトリック新聞6月12日号参照）
昨年の長崎水害をはじめ、世界では天災人災による被害が大きく、特に西アフリカにおける状況はなお悲惨を極め、水飢饉等による天災に加え、政治社会状況にいたたまれなくなった難民問題など、更に残酷さを加えている様である。

エチオピアでは大かんばんに見われスタンでは、エチオピア、ウガンダ難民合わせ55万人に及び、エジプトにも、エチオピア、ソマリア、エリトリアからの難民をかかえている。

更にヘル、ボリビア、アルゼンチンの大水害、コロンビアとコスタリカの大地震と被害は広まり、その傷跡がたえない、ベトナム難民、世界の貧困の問題、その他、私達を取りまく世界は苦しみに満ちている。この時、「この小さな人にした事は……」と言う主の呼びかけに私達はどの様に答えたらよいのだろうか。



滋賀地区特別聖年行事 安土セミナリヨ跡記念ミサ



教会が地域社会に溶け込むための働きの一つとして、滋賀県信徒連合会(代表鈴木庸男)では、神学校発祥の地、安土セミナリヨ跡において、記念ミサ、信徒交流の催しを行っている。今年も5月29日、村上司教代理、ラッキー管区長、滋賀県在住の司祭の捧げる共同司式に、信徒求道者合わせ三百名程が参列、四百年前の事を思い起こし、自分自身の信仰を深め、社会の福音化への努力の決意を新たにされた。

今年は信徒交流を深めるため、各教会から持ちよったパネル展を通じ、各教会の活動、近況を紹介し合った。

安土セミナリヨは、一五八〇年五月

オルガンチノ師が、信長よりこの地を下賜され、開校した、日本近代教育の幕あけでもあった。

2年前、故ガスパリ大使の手により、このセミナリヨ跡碑が除幕、祝別されてから、滋賀県連合の一致の一つの象徴的行事となった。この行事を通じ、組織の充実をはかり、更には全国にセミナリヨの意義が理解される様努力する事が一つの課題とされている。

教区の皆様の巡礼参加を歓迎している。尚、史跡公園管理は安土町及び安土老人クラブに協力をお願いしている。

私達の信仰の先輩達の功績が受け入れられている事は大きな喜びである。

桃山教会

桃山教会では毎年6月第1日曜日を創立記念日とし、共に祝う事になっているが今回は従来と少し違うところがあったので報告したいと思う。

一、創立記念日と総会を同じ日にしていたものを、総会を復活祭にし、創立記念パーティを6月第1日曜日とする。

二、教会が出来ただけ開かれたものである様に、キリスト教一致祈禱集会に集まる教会にも招待をする。

三、特に今回、障害者の授産施設、醍醐のフレンドリーハウスの方々が参加下さり、手芸品コーナーや催物にも参加して下さった。

又、桃山養護学校の数名の生徒とその父兄も参加下さり、聾啞者も多数参加して下さった。障害を持った方々との出会いが少しでも深まり、互いに心を開き合って、理想的と云うより、本来の教会が神の民の姿に立ち戻る様に願ってやまない。



三重県カトリック婦人大会

昭和58年5月8日
於上野教会、参加者120名



三重県カトリック信徒協議会主催による、カトリック婦人大会が、上野教会において行われた。畑中美智子先生(青谷教会、聖家族幼稚園主任)を講師に招き、「家庭に於ける信仰の現わし方」と題しての講演を聞き、其後年代別に五つのグループに分かれて、テーマにそった話し合いの場がもたれた。

上野教会のウィット師はその紹介の中で、講師として何故、司祭修道者を選ばず、平凡な主婦を選んだかを説明して、

「皆様と同じ様に、家庭の中で、信者としての立場を実際に体験してきた方の方が、司祭修道者よりふさわしいと思うたからです」と述べられた。

講演の要旨は、自分自身が育てられた家庭環境、自分自身が4人の子育てをしながら、未信者の夫をガンで失くすまでの体験、死の直前その主人の受洗に慰められた事等を体験を通して話され感銘を与えた。自分が育てられた環境も、自分が子供を育てていく環境も常に教会中心に行われた事、それがごく自然に、喜びの中に続けられた事。厳しい父とやさしい母に支えられ、しかもそのやさしさときびしさをかねそなえた両親。「子供達は神にまかせられているから、父の方針に従え、結果が悪ければ父が責任を持つから、黙ってついて来い」と云う父の確固

たる生き方と、母の従順なやさしさによって育てられた事など……。

信仰の現わし方として、自分が子供達と絶対に約束している事は、日曜日のミサを欠かさない事。クラブに行くからミサに行けないと言わせない。日曜日行けなければ、土曜日、三条ならいくらでもミサがあるから三条に行きなさいと云っている。一度行かなくてもよいからと許したらだんだら疎になると思うのでこれは厳しく云っている。それに教会関係の合宿にはどんな催しがあっても行ける様、計画しておく様と云ってあるとの事。

「子供のための祈り」をどんな時にもとなえる事、福沢諭吉の「子育て道標」をボロボロになるまで愛読し、実践しようとしている事などを話された。

カマラ大司教来洛記事について

85号(P.3)カマラ大司教来洛の記事中問題になる言葉使い、表現方法がありましたことをお詫び申し上げると共に御指摘いただきました方に対し心から感謝致します。

1、「後進国」と言う言葉は「発展途上国」とすべきでありました。

2、4段目18行から「永遠の課題……」。「永遠の課題である」までは、それは常に残された問題であるの意であり、そこから、急に「永遠」と言う言葉の連想から、神の世界へと移って行った考えの飛躍があり、後の文章からすれば、第一の意味を含むとは考えにくいと言う事。

したがって「そうなるとう……神の世界の問題である」は「又それは……の世界の問題にもなってくる様である」と改めるか又は「この未解決な、しかも人間の努力の世界だけでは不十分とさえ思われる何か、神の世界に助けを求めねばならない問題になりつつあるのかもしれない」と言う様な意味に書き改めれば誤解を少くするかもしれません。

3、「何故カマラ大司教がそれだけ祈られるのか……宗教の世界の問題になりつつある事を、私達は知るべきかも知れません」について。

確かに、人間の誠意や、可能性を信じ、出来るだけ人間的な賢明な努力を惜しんではなりません。でもかつては自分達で何でも出来ると思っていた政治家や科学者はそれが自分達だけの手に負えなくな

り、自分達の力をこえた何か、いわゆる宗教の力も借りねばならない事に気付きはじめているのではないのでしょうか。一方宗教家たちは、人間的なあらゆるものの価値を認め、又その努力を尊重しつつも、更に宗教的な価値、まなざし精神をもって貢献する事が期待されているし、その使命を持っているのです。平和の問題をはじめ人間がかかわるすべての問題は、人間万能主義的な神無用論と万事神依頼主義的な人間努力無用論の両極端のはざまに立たされています。

人間的なものと神的なもの、自然的なものとの超自然的なもの、人間の努力と神の恵等の間の関係は理論的には常に区別するべきですが、実践的には対立させるのではなくむしろ調和させるべきでありましょう。そしてこの調和は単なる五分と五分との関係ではなく、むしろ凸凹の関係であるでしょう。

更に、この調和の鍵は主の御託身の秘義における関係だろうと思います。即ち一つは、イエズス様における、神と人間、神的なものと人間的なものの調和、神的なものに主導権をもたせながら、人間的な価値がこよく高められている事。更に主は、社会の中で具体的な生き方をされながら、社会的なものを大切にされた事等を考えてみた時、その方向性はおのずと示されてくる様に思えます。でもあえて宗教の持つ特有な使命は、と云えばやはり神的な事、霊的な力、超自然への招きであり、それを世は宗教から期待しているのでしょうか。

いのちの電話

今、祈ろう！



逃げて下さい。その場から、又は家の外へ……。今ならまだ間に合います。頑張つてやって見て下さい。お願いします！」

「ボクには出来るかどうか分らない(泣く声と深い夕メ息のあと)でもやらなければ……そうでしょう？」

「あの……。 (長い沈黙) ボク、今浪人中なんです。今年ダメだったんですが…… (長い沈黙) 入試が済んで、発表までの数日間、落着かなくて、本当にいらいらしてたんです。そんな時、母が突然ボクの部屋に入ってきたんです。本当にボクは、どうかしてました。前後の見境なく母に襲いかかり、肉体関係を持つてしまっただけです。ボク……ボク……どうしたらいいか、わからないんです……」

「そう——何も恥かしがる事はありません。落着いて、もう少し話して下さいね。それから後、お母さんとの関係は続いていますか？」

「はい、一、二、三回ありました」

「それは、お母さんの方が積極的でしたか？ それとも、君の方が誘ったの？」

「いや、その後は母の方からばかりです。夜、寝ている時とか、風呂に入っている時です……」

「そう——でもよく勇気を持って電話して下さいましたね。まだ立ち直るのに十分望みがありますよ！ 勿論、それには君の理性と強固な意志が必要です。先ず、お母さんが来たら、毅然とした態度でそれを断りなさい。今、君がその関係を心から憎んでいるなら、はっきりと嫌だと断るべきです。それでも関係を迫る時は、

「今から君の為に祈ります。ごめん、私には、それしか出来ない……」 想像もつかない、身の毛のよだつような……トだが以外に多い事例なのである。それもほとんどが、母子家庭であり、若くして夫を失った母親の方から関係を迫っている。まさに、いつか映画で見たローマ時代の乱れ切った場面を思い出す。目を逸す事の出来ない事実が、私達の目に映らない処で行われているのだ。悪魔は実にずるく、頭がいい。着々と私達人間の心の隙間に入り込み、多くの人々を様々の手段を用いて、永遠の死に招き入れようとしている。一刻の猶子なくキリスト者は皆心の一致を持って祈らなければならぬ時が来ている。互いのプライドを捨て、みにくい派閥を捨て、主に目を向けて、今、祈ろう！ 病む兄弟の為に……。カトリック誌という事を考え、この種の事例を書く事を躊躇したが、現代社会の病む一面として皆様のご理解をお願いします。

編集部より 読者諸氏の中には驚かれ憤慨される方もおありかとも思いますが社会の一現実として、冷静に判断され、むしろ、この様な社会にあって、世の光となるにはどうすればよいかをあたたかいい心で考えて下さる様お願いします。

(富雄教会 吉田惇子)

コミュニケーションへの提言 健康診断編

企業にも、社会にも大きな影響を与えているコンピュータの普及ぶりに加え、新しいタイプの「貧しい階級」が生まれつつあるという記事を、先週のニューヨークタイムズで読みました。

情報交換の正確さと迅速さ、便利さ、より大きい利潤を社会に送るためにと製作された機器が、情報網から疎外して、新しいタイプの被差別階級を作り始めたことは皮肉な現象です。

「コミュニケーション健康診断」と、大げさなテーマをかけたこの欄ですが、冒頭から「先進国はコミュニケーション悪循環症候群」に罹っている様です。

コミュニケーション障害症は教会内に限らず、現代社会病の一つで色々がった症状を示すものがあります。どの障害症も患者自身に自覚症状がありません、かえって患者のまわりにいる者が、その障害の影響を受けて重症になり、死因にもなるという特徴があります。教会の中に見られるコミュニケーション障害症を幾つか挙げて見ましょう。

○欠語症—朝夕の挨拶から食卓での会話、近所づきあいの会話が脱落しはじめ、あまりがとう、ごめんなさい等も消える。大抵の場合欠語の機会が多くなるに従って表情にも乏しくなる。

○勝手難聴症—殆んど音を聴く力を持ちながら、人の話の腰をよく折り、早合点したり、そっぽを向いたりする。

○失聴界症—狭視界症併発の場合が多い。自分の興味、関心、利点になる事には非常に鋭敏。自分の域を外れる話になると席を立ったり、自分の興味、関心ある事



を強引に会話に持出す。勝手難聴症に似ているが、より難症。

○イスカリオテ・ユダ氏病—健康状態時の善意、明朗さが消失し始め、共同体内での聴力減退というより、次第に絶望的

な受取り方をするようになる。

○熱心党斑点症候群—グループで発病する場合が多い。軽症であったり、グループが小さくても早期治療に越したことはない。ミサより持論の信

心業に凝ったり、共同体、一般社会で理解されにくい言葉をさかんに使い、他にも強要したがる。

○ゲット—色盲症—最近では少なくなったが、折々見られる。話題に上る人物についてしきりに誰彼が信者であるかないかを問

いたです。信者である者への反応は正常であるが、未信者に対しては余計な曲折が伴って反応が鈍り、相手が見えない事が多い。

○クリスチャン筋肉無力症—聴視力ともに正常に見える。一応クリスト者としての社会の関りには一切背を向けたがる。

重症の場合が多い。等々。注意深くあなたの周囲を見ると、もつと違ったコミュニケーション障害症が見つか

つかるかも知れません。しかし、それはさておき、私たちクリスト者が「コミュニケーション健康診断」の必要と重大さを忘れてはならない理由をいっしょに考えてみま

しょう。旧・新約聖書を通して語られるのは、
「聞け、イスラエル—教会—にあらわされる神の言葉、心を聞く事であり、クリストの生涯を通して見る神の呼びかけへの神の子としての応え方ではないでし

ことは、皆さんよくご存知です。クリスト者と

と呼ばれる私たちは、それぞれ置かれた場所、時の状態でクリストが応えられるであろう言葉、方法で神の呼びかけに

応えてゆくことも知っています。聖書全体は神と人、クリストを通しての人と人の

コミュニケーションが本場のコミュニケーションであることを述べています。

「み言葉が人とされた」ことは、私たちの存在、自身もまた神のコミュニケーションであることに気がつきます。だから、深い

真実なコミュニケーションは言葉のやりとりばかりでなく、表情、態度、沈黙

さえも人と人との間にクリスト、神がおられることをそれとなく知らせるので

す。それが判れば、欠語症、ゲット—色盲、クリスチャン筋肉無力症も自分で癒せる

のではないでしようか。勿論一べんにとはいかなくても、きょうだいの助け、クリストの力を借りながら立ち直ってゆけることは確



(Y)

☆小教区の頁☆ 青谷教会

ここで紹介させていただけることに感謝致します。日頃教区のために余り協力出来ず、恥かしく思っているが、それでも他に得がたい良いところもあります。

先ず私共小教区の回りから紹介しますと、

青谷は田辺教会と津川をはさんで丁度東側に当ります。国鉄京都奈良間のまん中で山城青谷駅から東へ徒歩5分の所に位置しています。昭和26年に献堂された時には、本当に村の教



祈りは呼吸となって

私がこの青谷に着任したのは7年前の初夏でした。緑豊かな素晴らしいこの土地には何の不足もなかったのですが、メリノール的主旨に反しての思いもよらぬ移動にとまどいながらの日々でした。

それが私の努力か、信者たちの協力があつてのことか、今はもう、この青谷を離れる気は全くありません。聖堂にはいつも誰かが折っておられる小教区です。祈りとは呼吸と同じであり生活のリズムそのものです。寝ている時も、起きている間も、仕事の時も、勉強の時も常に祈りそのものであらねばならないと考えています。

「ロイ・レオナルド」

会という感じでしたが、その後久津川、寺田、富野荘、青谷と4ヶ村が合併され城陽町に、そして今では市政が施かれ京都のベッドタウンとして人口も7万5千人を越えました。

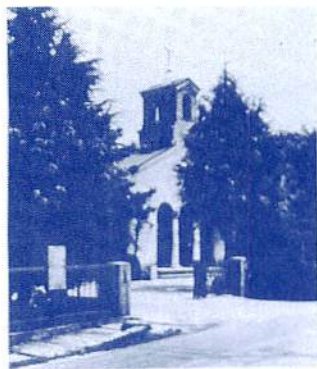
それでもここは、市の南端で、まだまだ緑豊かな田園と山林があり、ここを訪れた方々は口を揃えて空気が美味しいのんびりするとおっしゃいます。

こんな環境のせいでしようか、当教会の信者達ものんびり型が多く、主日のミサにも遅れがちでいつも神父様をいらいらさせている様です。

ここに來られる信者は地元城陽市のほか、井手町からは長崎から移住された熱心な方々も集まります。只

残念な事には交通の便が悪い為どうしても他の教会へ行かれる場合が多い様です。もう一つ大きな悩みは青年信者が次々と教区を離れていくことです。

子供会そして小学、中学、高校生会と熱心が集つて来た皆さんがやと立派な社会人となつてから離れて行くのは淋しく思います。何分信者数も少なく、日曜日には仕事のある信者も多い状況の中ですが年中行事としては、復活祭、被昇天祭、御降誕祭には、皆さんで楽しい集まりの会を催し、夏には子供会の合宿、春秋には球技大会を行つて親睦を深めて



います。

当教会は終戦後、物資のない大変な時、今尚「神の園」でお元気で活躍中のスタインバック師によって創設され、教会献堂一年後には聖家族幼稚園も併設されました。一代目の司祭は徳久師、そしてハベニク師、バーンス師、村上真理雄師、現在のレオナルド師が昭和52年4月より主任司祭として活躍され今日に至っています。

神父様も幼稚園や、近くにある国立京都病院、そして老人ホームに居られる信者訪問に忙しい毎日を送っておられます。神父様が私共にいつも申されることは「布教とは、何も教会へ神様の話を聞きに來なさいとすすめるより、あなた達一人一人の生活態度によつて、あの人が行

なところかなと、一度私も行つてみようかと思われ様な人になりなさいと、それが一番大きな布教だと話されます。まだまだそれには程遠い私共ですが、日頃は何か事も助け合い協力し合っています。仲良く楽しい教会の雰囲気は、他に引けをとらないと自信を持っています。

春に行われた京都南教区の運動会には初参加し第2位になりました。今後は出来るだけ他の教会の方々ともお付き合いさせていただき、より大きな小教区へと歩いて行きたいと考えています。

さて当教会の自慢の一つは婦人会です。教会総てが婦人会で持つていっているといつても過言では無いようです。行事の準備や世話話は勿論のこと、教会の清掃まで婦人の方々の協力でいつも気持ちよくミサに与ることが出来ます。又、連絡網が充分で一つ何事がある時、それを利用していきます。残念なのは壮年の方々の集まりが今ひとつの様で今後の課題として取組む必要にせまられています。

今年は今当青谷教会が巡礼教会に指定され、今日までも多くの方々の訪問を受け又、今後も予想されていますので少しでも気持ちよく、聖堂の整備に力を入れておられます。充分なおもてなしは出来ませんが、空気が美味しいのんびりするとは間違いありません。是非青谷教会へのお越しをお待ちしております。

※当教会のミサ時間をお知らせします。
平日・10時より
土曜 夕7時30分
主日・8時30分より

最後に日頃ペンを持った事の無い私たちで、充分に当小教区を紹介出来ませんでした。青谷はまだまだ幼い小教区ですが、今後共、主任神父様と一致して聖家族教会の名の通り、仲良く明るい教会へと努力致します。

神様がいつも私達を守つて下さっていることに感謝の心を忘れず励みます。兄弟である皆様方のお祈りをよろしくお願い致します。

(青谷教会委員会一同)



ビジョンの具体化は

学び合いから

シスター 鈴木

桜のつばみのふくらむ三月末、鈴鹿教会では、第一回キリスト教講座(コロンバン企画)が終了した。

言の寝るもぐら

わが教会のテニスコート横の
大木がミモザ、又の名をアカシ
ヤと聞いてから楽しくなった。
出エジプト記に「証しの石板
を納める箱はアカシヤ材でつく
るように」とか、「アカシヤで
竿をつくり」など。アカシヤ
は、神の住居としての幕
屋づくりの材料となっている。「モ
ーゼとその民たちは、神がお命じ
になった通りに材料、寸法、構造、
針一本に至るまで忠実に従った。モーゼ
の顔は輝き、民たちは霊に満たされて恵
みを賜わり、多くの知識、芸術的な心、
識別する力、技巧、工作が上達した。そ
して神の希望された幕屋が完成し、神の
栄光が満ちた」と記されている。人間の
考えではなく、神のみことばに従うとき、

人間ばっかり

がんばったって

これだけは完全に実行しようと努力する
と、他の戒も自然に守ることが出来る。
そして全くこだわりのない、何ものにも
捉われない、不思議な平安の世界を経験
した。「まず神の国と神の義を求めなさい。
全のものは総て添えて与えられる」
神のことばに従って神と共に歩む道が最

去年の信徒会は「我々のビジョンは、
信仰の刷新と成長による自主運営」とい
う熱意によって、去年二月にキリスト教
講座が開講される運びとなり、信徒会役
員をはじめ二十五名の信者、六名の未信
者が共に、求道者としての学びの場がはじ
まった。転勤、その他の理由ができた以
外のメンバー二十名が、一年間、四十七
週の各セッションを終え、四月十六日他
の物件で鈴鹿教会に、お泊りになった田
中司教様の手から、終了証書を受け、第
一回生として恵まれた晴れの日となった。
証書には「あなたは、あなたの生まれ故
郷、あなたの父の家を出て、わたしが示
す地へ行きなさい」(創十二)とあり、

主に選ばれ、主に出会い、これから主の
示されることを行う強い信仰の道をあゆ
む覚悟を感動の内に新たにしたい。しか
しこれによって講座を卒業したというの
ではなく、これからも学び、成長し続け
たいと、このメンバーは四月から新たに「聖
書百週間」へと前進した。尚四月から第
二回キリスト教講座が始まっている。こ
こに第一回キリスト教講座を終了された方
の感想文を紹介しよう。

「キリスト教講座を終えて」

坂本哲夫

一年間、長いと思っていた講座も、今
ふり返ってみると、案外短く過ぎ去った
感じである。第一期「自分との出会い」
によって他の人をも受容すること。第二
も平坦で、まっすぐで、歩み易いこと
に気づかず、かえって自分の知恵やが
んばりで己が道をゆがめたり、困難に
していたのではなかっただろうか。

バチカン公会議以降カトリック教の
土着化を、と。そのためにたえず聖書
を学び、祈り、聖書の導きによって隣
人のために、小さき者のために働きな
さいとの強いおすすみがあって、教会
が社会へ大きく開かれたものとなりま
した。

あなたのみことばは わが足の灯

わが道の光です 詩編一一九

水の上にパンをまき散らしなさい

後の世のために 伝導の書十一章
神のみ手に導かれて、神のみことばを
まき散らす者となりたいのです。私は、

登美ヶ丘教会 祈りの集い。E。

期「キリストとの出会い」によって自分
をキリストにコミットすること。第三期
「キリスト共同体との出会い」によって典
礼、祈り、奉仕を学ばせていただいた。
この学びによって、より深く神のみこと
ばを聴く耳、人のことばを聴く耳、をも
つことができるようになった。私はこの
講座を十分自分のものとするため、この
一年間、自分なりに予習復習を一生懸命
にしたり、診療の合間に聖書に親しむこ
ともができるようになった。毎水曜日(講
座の日)を大げさに言えば、待ちどおし
い気持ちでだんだんできてこの講座に引
き込まれていった。特にエクササイズは、
分ち合いということで、最初は異和感が
あったが、馴れるに従いグループの人達
の新しい面を発見でき、親しみも増して
いった。信仰行為が単なる義務感だけで
はなく共同体が互いに励まし合い、祈り
合ってこそはじめてキリストの御旨にそ
えるのではないかと思います。この講座
を通じて、キリストが私を招いて下さる。
呼んで下さっているという感じが心のう
ちにはつきりと自覚され、喜びにあふれ
た気持ちで参加できた。この気持ちを一
人でも多くの人に分ち合いたいと思う。
又共同体の活性化は、一人でも多くの信
者が、この講座に参加することによって、
信仰も、互いのコミュニケーションも深
められると確信し、心から祈ります。こ
の一年間神父様とシスターのあたたかい
励ましとお導きのおかげで、勉強させて
いただいたことに深く感謝いたします。

(鈴鹿教会)

社会と共に歩む人物記とすることになる

りますと、その人は何か特別な人の様に思われたり、社会の中で活発に神の国のために働いている人と言う印象をお受けになる方もおありのことかと思ひ、今回は、その誤解を解くために、三人のテレーズの事を記してみたいと思います。

第一のテレーズは、幼きイエズスのテレジアです。この聖女について大方の方は御存知と思います。16才でカルメル会に入会し、24才でカルメルの奥深く、肺結核でなくなりました。それは一八九七年、十九世紀の終りの事です。

第二のテレーズは、言うまでもなく現代の聖女と言われる、マザーテレザの事です。

第三のテレーズは、数名の聖職者の母として、ごく平凡な母親としてなくなつたある一人の主婦の話です。

これを讀まれた読者は、すぐああこれはだめだ、故人二人を引き合いに出し、もう一人は確かに現代に生きているが、遠い国で活躍し、自分達とはほど遠い聖者の様な人の話だから、私達には無関係だ、これは読むに値しないと云われるかもしれません。しかしもし、その精神を自分のものとしてくださるなら、それはあなた自身が、社会とともに歩む人物として、ここに登場していただかなければならない事になる訳です。

リジュの聖女テレーズ、その現代的意義に、次の様な事があります。

一つは、その愛の奉獻の生活、二つにはいかなる日常さはん事、平凡な事で、

愛をもつてすれば、それこそ価値あるものであると教えてくれた事。三つには、子供の様な信頼と愛を神に託る道を教えられた事です。しかし何故聖女が、社会とは没交渉と思われるカルメルに入会されたかといへば、「人々の靈魂を救うため、そして特に司祭方のために祈るためここに参りました」と言う言葉通り、

聖女の死の直前の事、健康を少しでも回復させたいと言う長上の願いに従ひ、聖女は庭を歩いておりましたが、それは彼女にとって大変苦しいものでした。それを見とがめたお姉さんの一人に伝えて「私は今にも倒れようとする宣教師のために歩いていきます」と申しました。教会は、テレーズを聖フランシスコと共に、布教の保護者と定めました。

現代の聖女と言われる、マザーテレザについては今更、言うべくありません。マザーの働きと言うが影響力の大きさは測り知れないものがありますが、その精神そのものは、誰でもできる苦のとりも単純な事です。「この小さい人にした事は私にしたのだ」と言う主の言葉です。私達のために生まれ、死んで復活され、



社会と共に歩む人

それはあなた

三人のテレーズ

れを見とがめたお姉さんの一人に伝えて「私は今にも倒れようとする宣教師のために歩いていきます」と申しました。教会は、テレーズを聖フランシスコと共に、布教の保護者と定めました。

現代の聖女と言われる、マザーテレザについては今更、言うべくありません。マザーの働きと言うが影響力の大きさは測り知れないものがありますが、その精神そのものは、誰でもできる苦のとりも単純な事です。「この小さい人にした事は私にしたのだ」と言う主の言葉です。私達のために生まれ、死んで復活され、

特に聖体の中に生き給う同じキリストが特に、私達が出会う人々の中で最も、苦しみ悩んでいる人、見捨てられ、忘れ去られそうなる人の中に住んでおられ、その人々への思いやり、やさしいまなざし、あたたかい手を差し伸べる事によってその出会いが実現されると云うのです。

第三のテレーズは、誰も御存知のないある一家の主婦の話です。彼女は、夫に仕え、子供達を一人のキリスト者として育てあげる事に専念した全く平凡な主婦です。別に教会の役員として、活動する事も、社会の中で奉仕活動を特別にやっただけでもありません。ただひたすらに、子供達を、神の光栄のために育てる。夫の方針に従つて全く従順に生きぬいただけに見えましたが、ただ彼女は、すべての人々に対してやさしい思いやりと親切を尽しました。

又その子等が、玄関先の布教、立話しの布教と名付ける事はしていた様に思えます。

社会と共に、社会のために、生きると言う事をむずかしく考えられる人があるとしたら、それは間違っています。

修道院の奥深く生き抜いた聖女テレーズ、貧しく苦しむ人々の中に生きるマザーテレザ、家庭の中で平凡に生きた一人の主婦、三人とも社会と共に生きたのです。「小さい人々」と共に、小さい人の一人となつて。



時報が対話 おう、書く手段なら 者も読む者 ば「互いにも、投稿者 心を聞けあ も編集者も」

◆太平洋の西側からではなく、ハドソン河畔からアメリカの教会を肌で感じています。司教は「司教の使命」を信徒に訴え、信徒は市民と共に反核運動を、ソビエト都市との姉妹関係を結ぶ運動を広げようと、活発に動いています。保守的な小教区も勿論あります。それはそれなり、それこそありとあらゆる形で広がっているようです。アジアの教会に耳を傾ける姿勢も本物になりつつあります。(Y)

◆言葉のない世界が、もてはやされている様です。以心伝心が最高のコミュニケーションの様に迷信している人がいる様です。言葉を十分に使うことが出来ない時、どれだけ誤解とわびしさの中に生活しているか、はかり知れぬものがあります。はじめにことばあり、ことばは人となつて我等の中に住まわれた。言葉を大切にしたいものです。誠(言が成る)を大切にしたいものです。(M・T)

◆山の緑の美しい先頃、鞍馬から二の瀬ユリ方面の8キロ余りの山道を、がたのきた身体に叱咤激励をしながら、汗をかき歩き歩いた。何年ぶりの山歩きで一週間足腰が痛かったが大変に爽やかな一日であった。皆様もよい夏休みを。(K)

本紙を福音宣教に役立たせるため、ご近所、お友だちにもお見せ下さい。